

以下は、病気のなかでの患者さまの言葉です。
 自分にも思いあたるところがあれば、左側の欄にチェックしてください。

チェック	患者さまの言葉
	「こんなこと(治療など)やったってしょうがない」
	「入院は退屈だ」
	「何もすることがない」
	「何をしたらいいのかわからない」
	「何の意味もない」
	「早く楽にしてほしい」
	「早くお迎えが来ないか」
	「死んだら何も残らない」
	「孤独だ。自分ひとり取り残された感じだ」
	「家族がついていてくれるが、ひとりぼっちのように感じる」
	「ひとり天井を見つめていると、生きている実感がない」
	「誰もわかってくれない」
	「死んだら私はどうなるの？どこへ行くの？」
	「こんなことになったのは、パチ(罰)があたったからだ」
	「私の罪は永遠に消えることはない」
	「何でこんなことになってしまったのか」
	「私の人生は何だったのか」
	「人の世話になって迷惑かけて生きていても、申しわけない」
	「自分で自分のことができないのは、もう人間じゃない」
	「何の役にも立たない。生きている価値がない」
<p>今、一番の気掛かりは？</p>	